

令和2年 8月 4日

川崎市議会議長 山崎直史様

多摩区在住者

高齢者や車椅子使用者でも回遊できる生田緑地の遊歩道整備を  
求める陳情

#### 陳情の要旨

生田緑地のばら苑などを含むエリアと、日本民家園や岡本太郎美術館などを含むエリアを行き来するには、現在、勾配のきつい坂道を上り下りする上、かなり遠回りしなければアクセスできません。

高齢者や車椅子使用者でも両者を行き来できるよう、2つのエリアの結節点である都市計画道路「向ヶ丘遊園駅菅生線」おし沼北交差点付近につり橋などのこ線橋を設置し、周辺の遊歩道を一部ループ橋などの手法も用いるなど、バリアフリー化してください。

#### 陳情の理由

本市多摩区にある生田緑地は、川崎市立日本民家園、岡本太郎美術館、藤子・F・不二雄ミュージアム、ばら苑などを含み、市民が自然や文化に気軽に触れ合える憩いの場となっています。

また、現在、令和5年秋を目途に小田急向ヶ丘遊園跡地利用計画も進められており、跡地には温浴施設やキャンプ場、商業施設などが建設予定で、完成時には市内外から多くの来訪者が見込まれます。

2つの生田緑地を誰もが気軽に行き来できるバリアフリーな遊歩道整備は、生田緑地の魅力を更に高め、回遊性の向上に資するものと考えます。